

青山同窓会報

《発行所》

青山同窓会

〒951-8127 新潟市中央区関屋下川原町2-635

新潟県立新潟高等学校内

TEL 025-266-5268

FAX 025-266-5268

《編集・発行人》

吉田 至夫

《印刷所》

株式会社 DI Palette

〒950-8724 新潟市中央区和合町2-4-18

TEL 025-285-7161

FAX 025-282-1776

ご挨拶

青山同窓会会長

吉田 至夫 (79回)

71卒



青山同窓会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

トランプ大統領は就任以来、様々な旋風を巻き起こしていますが、我が国は自由貿易の崇高な理念の下、是非リーダーシップを発揮していただきたいと思っています。

同窓会はこの春、ついにホームページを一新致しました。全体に大変見やすく、使いやすくなっておりますので、是非ご利用下さい。また協賛企業様をご

紹介するコーナーも新設しましたので、こちらも活用下さい。さて、先日同窓生の素晴らしい活躍を耳に致しました。今春の東京大学入学式において、母校の卒業生が、入学生総代として宣誓をされました。感激のあまり、周囲の保護者が何人も涙を拭っておられたそうです。また東北大学では、卒業生が教育学部で昨年度の総長賞を受賞されました。一昨年はなんと3名の卒業生が総長賞を受賞し、同じ高校の出身者が3名も受賞するのは珍しい」と大学のご担当者からわざわざ来校されたそうです。いずれも伝統ある我が母校にとって大変名誉な出来事であり、謹んで皆様にお知らせ致します。

ここでお願いがございます。誠に心苦しい限りですが、同窓会費をこれまでの2口(2千円)以上から、3口(3千円)以上に見直しさせていただくこととしました。今年は青陵祭の機材設置にも使用させていただきましたが、諸物価高騰の折、現役生への変わらぬサポートを続けていきたいと思います。

また同様に「がんばれ青山」応援募金に対しても、一層のご支援をお願いいたします。近年はスポーツの分野以外でも、アジア物理オリンピックの日本代表として銅メダルを受賞するなど、まさに文武両道の活躍が続いておりますが、その一方、活躍する生徒数の増加に伴い、個々の選手への贈呈額は減少傾向となっております。是非、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

最後に、会員の皆様が益々元気でご活躍されますことをお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

令和7年青山同窓会

新年会報告

広報委員

中村

優美 (通46回)

04卒

令和7年2月18日(火)、ホテルイタリア軒にて青山同窓会新年会が開催されました。新潟市内は2月にしては暖かい、春のような陽気が数日続いていましたが、18日からは大型の寒気が入り、冬の風が吹く中の開催となりました。61回から122回まで、90名近く幅広い年齢の同窓生が参加されました。齋藤真理さん(111回)の司会にて、吉田至夫同窓会長(79回)の開会挨拶から新年会が始まりました。新型コロナウイルスが令和5年5月に第5類感染症となつて以降2度目の新年会でしたが、自由席の円卓には個人席ごとのパーティションも無くなり、様々な年代の同窓生で会話や交流がしやすい、終始和やかで華やかな雰囲気にて会が進行してゆきました。

議員 小林一大さん(100回)より、7月に控える選挙の話題にも触れつつ同窓生の一員として青山同窓会と母校を支えてゆきたいとご挨拶されました。続いて、同窓生から現役生への激励金である「がんばれ青山」の贈呈式が行われました。同窓生を代表して吉田会長から市野校長へと贈呈され、文武両道に活躍するが故に、遠征費などの負担も増加しているとのこと、活動資金としての本基金の重要性を考えさせられました。渡邊毅同窓会副会長(85回)の乾杯の発声にて、懇親会が開始されました。歓談の時間ではテーブルを回つて新年の再会を喜ぶ方や、新たな交流にも花が咲いていました。

恒例の丈夫斉唱では、希望者登壇の上、笹川淳史さん(102回)の指揮のもと会場全体での大合唱となりました。また、川本良樹さん(121回)指揮によるシェンプレヒコールも行われ、青山同窓会の発展と母校への支援の想いを新たにする時間となりました。中締めは監事の吉田徳治さん(83回)より、青山同窓会・本校の発展と、同窓生の皆様のご健勝、ご多幸を祈念し万歳三唱にて幕を閉じました。



次に、市野正廣校長よりご挨拶をいただきました。現役学生の勉学における健闘にあわせ、運動部、文化系の部活動での活躍の報告をいただきました。

ご来賓の参議院

新潟県立新潟高等学校130周年基金収支報告

(自 令和 6 年 4 月 1 日 至 令和 7 年 3 月 31 日)

(単位：円)

科 目	決算額	主な内訳
雑収入	3,854	預金利子
収入合計	3,854	
備品費	145,613	普通教室電子黒板スタンドキャスター1個、ソフトバンクWi-Fi使用料
雑費	110	振込手数料
支出合計	145,723	
収支差額	△ 141,869	
前期繰越金	18,051,644	
次期繰越金	17,909,775	

新潟県立新潟高等学校創立130周年記念事業会計の残金を基金として、引き続き140周年までICT教育に役立てます。

がんばれ青山 ～応援募金についてご案内～

日頃は同窓会活動にご理解・ご協力を賜りありがとうございます。

全国大会へ出場し活躍を続ける現役生を支援するため、募金口座を開設しました。引き続き、「がんばれ青山」へのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■郵便振替口座

00510-4-52617 がんばれ青山

■第四北越銀行

本店営業部 普通口座 5054323 がんばれ青山

がんばれ青山収支報告

(自 令和 6 年 4 月 1 日 至 令和 7 年 3 月 31 日)

(単位：円)

○お取引明細表が領収証となります。

○お名前に併せて卒回もご記入ください。

- ・第四北越銀行様ATM画面では「御依頼人指定」にて操作できます。
- ・ゆうちょ銀行様ATM画面では金額入力後の「ご確認ください」の画面で操作できます。「口座名義で送金します」で「いいえ」を選び、手入力で下記のようにご入力をお願いします。
- ・ご自身のお名前の前に卒回の数字のみを入力ください。

(カイソツ、ネンカイ等の文字は必要ありません。)

例) 全日制の方の場合 00アオヤマタロウ

通信制の方の場合 ツ00アオヤマケンジ

科 目	決算額	主な内訳
寄 附 金	258,058	
雑 収 入	1,119	
収 入 合 計	259,177	
支 援 費	198,000	贈呈金 (3,000 円×生徒 66 人)
雑 費	330	両替手数料
支 出 合 計	198,330	
収 支 差 額	60,847	
前 期 繰 越 金	4,431,568	
次 期 繰 越 金	4,492,415	

令和 6 年度は「がんばれ青山」口座より198,000円を支出し、新潟高校へ贈呈したことをご報告します。

この度、91期還暦同期会員の皆様より「がんばれ青山」へ10万8千円余ご寄付をいただきました。昨年、還暦同期会を開催され、全国から126名の出席があり2次会でのミニライブも盛り上がったそうです。会の残余金を寄付してくださいました。お志に感謝し大切に使用させていただきます。大変ありがとうございます。

91期還暦同期会様
からの寄付(お礼)

幹事長 桑野 一美

青山同窓会 令和 8 年 新年会のお知らせ

来年の新年会は令和 8 年 2 月 18 日 (水) を予定しております。
詳細は次号会報に掲載いたします。

同窓会費値上げについてお願い

会長 吉田 至夫

日頃は同窓会活動にご理解・ご協力を賜りありがとうございます。

永らく「1口1,000円、できるだけ2口以上」をお願いして参りましたが、郵送費を含め昨今の諸費値上がりの実情を踏まえ、以下の通り実質的な値上げをお願いせざるを得ない状況です。ご理解のほど、何卒お願い申し上げます。

なお、青山同窓会の会費は年会費(4月1日～翌年3月末)となっております。会費を納入していただきますと、「総会のご案内」と「青山同窓会報」(年2回発行)をお届けいたします。

年会費 1口 1,000円 できるだけ**3口以上**をお願いいたします。(手数料はご負担をお願いします)

- 振込先**
- 郵便振替口座 00650-7-4455 青山同窓会
・郵便振替の受領証が年会費領収証となります。
 - 第四北越銀行 白山支店 普通 5008609 青山同窓会年会費
・お取引明細表が年会費領収証となります。

お願い

- ・振込用紙を使用せずにお振込みをされる方は、入金確認のため、お名前に併せて卒回もご記入ください。卒回は数字のみを入力ください。(カイソツ、ネンカイ等の文字は必要ありません。)

ご自身の卒回 ご自身のお名前

例) 全日制の方の場合 00アオヤマタロウ

通信制の方の場合 ツ00アオヤマケンジ

- ・第四北越銀行ATM画面では「御依頼人指定」にて操作できます。
- ・ゆうちょ銀行ATM画面では金額入力後の「ご確認ください」の画面で操作できます。「口座名義で送金します」で「いいえ」を選び、手入力で上記のようにご入力をお願いします。

各振込手数料は下記のとおりです。(令和7年1月現在)

(ゆうちょ銀行は5万円、第四北越銀行は3万円未満の手数料です)

- ・ゆうちょ銀行口座をお持ちの方 ネットバンキング 月5回無料 ATM 152円 窓口 203円
- ・第四北越銀行の口座をお持ちの方 ネットバンキング無料 ATM 110円 窓口 330円

※近年、卒回不明の方が増えております。会報掲載の会費納入者名簿にてご自身のお名前のご確認をお願いします。名簿最後記載の「不明」の方は事務局までご連絡をお願いします。

青山同窓会HPリニューアルのお知らせと LINE登録のお願い

このたび青山同窓会の公式ホームページ（HP）をリニューアルしました。

会員の皆様に同窓会の情報を今までより見やすくスタイリッシュにタイムリーにお届けできるようになりましたので、ぜひ一度ご確認ください。

これに伴い、LINEの公式アカウントを開設しました。今までのHPでは会員の皆様に自らWEBにアクセスしてもらわなければ情報を見ることができませんでした。このLINEにより今までできなかった「発信」に注力していきたいと思っています。HPの更新情報や総会新年会のご案内など、毎月定期発信していきたいと思ひます。

将来的には同窓会員の皆様から登録をいただくことで、会報や諸連絡文書の郵送費の削減を期待しています。ぜひ、左下の2次元コードから友だち登録をお願いします。

●HPアドレス



●LINE登録



なお、個人情報の取り扱いには十分配慮したシステムとなっております。安心してご利用ください。

お問い合わせは広報委員会までお願いいたします。

広報委員会

広報委員名簿

役 名	氏 名 (卒回)
委 員 長	金井 利郎 (92回) (会報編集長兼任)
委 員	長谷部美也子 (93回)
	加賀 稔理 (95回)
	加藤 貴之 (100回) (WEB担当兼任)
	関口健之介 (103回) (WEB担当兼任)
	田中 健一 (105回) (WEB担当兼任)
	五十嵐悠介 (107回) (WEB担当兼任)
	松岡功太郎 (113回)
	北見 直子 (115回)
	中村 優美 (通46回)

令和7年度PTA会長 就任のご挨拶

堀川 裕司 (87回)

79卒



令和7年度新会長にご選出いただきました堀川裕司と申します。昭和54年に新潟高校を卒業

後東京の大学に進学、東京で就職しその後アメリカの大学院に

留学の中新潟に32年前に戻って参りました。高校卒業後、母校とは縁がありませんでしたが、長女が入学してくれたおかげで、45年ぶりに母校に足を踏み入れることができました。その直後まさか私にPTA副会長の依頼が来るとは夢にも思いませんでした。

それから一年、今の生徒さんを取り巻く環境はずいぶん様変わりしていることを感じさせ

られました。とても恵まれた環境であることは確かです。短期留学や、いろいろな進学に対する経験プログラムなど充実したサポート制度が様々あり、うらやましく感じました。

しかし一方で受験制度も皆ほどシンプルではなく、様々な選択肢があることはよいことである一面、選択肢が多いが故に何が自分に合っているのか、どの様に意思決定していくべきなのか、とても悩むところだと思います。

今、そのような悩みを相談される一人の親として、一緒に悩んで話し合っている私がどれだ

けお役に立てるかわかりませんが、先生方のお力添えもいただきながら、生徒さんや保護者の皆さんに寄り添い、サポートしていければと考えております。

また、先生方のお話を伺うと公立校ならではの悩みも多々あるようです。同窓会の皆様には引き続きご支援賜りますようお願いいたします。

総会実行委員長 就任の御挨拶

佐藤

邦栄 (102回)

94卒



願っています。

さて、コロナ禍による縮小開催であった、2022年は、230名の参加と少し寂しさを感じましたが、その後、5類に移行し、2024年は269名の参加と、参加人数も復活している状況です。今年は、「500名」という大きな目標を掲げ、総会に向け、準備を進めているところではあります。

2024年は、総会当日に、同窓生から協賛いただいた景品で、お楽しみ抽選会を行い、参加者の皆様から、大変好評をいただきました。また、新しいホームページを作成し、LINEのお友達登録もできるようにシステムを改めました。

近年、特に若い同窓生が参加して楽しいような同窓会運営を進めているところでございます。私も、数年前までは、敷居が高く、近寄りづらい同窓会である

と認識していましたが、会に関わるようになって、素敵な先輩、頼りになる同期・後輩に助けて

もらいながら、この職を務めているところでございます。

旧交を温めつつ、新しい出会いがあるのが、「ケンタカ同窓会」であると確信しております。是非、同窓生の皆様より、気軽に、本年度の同窓会総会に足をお運びいただければと思います。

関西青山同窓会 総会開催 ご案内

皆様方には初夏を迎え、益々ご健勝のことと、お慶び申し上げます。

さて関西青山同窓会を下記予定で開催する運びとなりました。

日時：2025年11月16日(日) 午後3時～午後6時

会場：新大阪ユースホテル

住所：〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1-13-13
(Kokopla5&10F)

Tel: 06-6370-5427

Website: <https://osaka-yha.or.jp/shin-osaka>

会費：卒業生 ¥8,000 現役 学生 ¥3,000

講演も予定していますので、皆様 奮ってのご参加お待ちしております。

尚、個別のご案内は9月中旬にさせていただきます。

島田 茂(83回)'75卒

関西青山同窓会 事務局

連絡先メール: aoyama8241@gmail.com

連絡先携帯 : 070-8480-1452

総会実行委員名簿

役員				委員			
委員長				副委員長			
役名	氏名	(卒回)		氏名	(卒回)		
委員長	佐藤 邦栄	(102回)		副委員長	関口健之介	(103回)	
	田中 健一	(105回)			中山 均	(86回)	
	渡辺 政次	(86回)			本間 正隆	(91回)	
	浅妻 信	(95回)			加賀 稔理	(95回)	

委員							
遠藤 剛史	(99回)	笹川 淳史	(102回)	鈴木 寛	(102回)	山田 清達	(108回)
古川 隼人	(116回)	今成悠理子	(117回)	大橋 建太	(119回)	川本 良樹	(121回)
佐藤 健太	(122回)						

同 窓 生 訪 問

塙孝哉さん(119回)を訪ねて

広報委員 松岡功太郎(113回)

05卒



■私の現在

小児科医として勤務しながら、医療の分野にAIを導入するためのコーディネーターとして医師と開発者の間をつなぐ仕事をしています。また、近々小

今回の同窓生訪問は塙孝哉さん。小児科医として勤務しながら、AIを利用した医療用ソフトの開発をするベンチャー企業を立ち上げるほか、在校生向けの授業の講師として自身の経験や最先端の研究情報をお話しいただいているとのこと。塙さんが昔からよく通っているという東大前の喫茶店でお話を伺いました。

■今の仕事に就きつつかけ

小児科医として勤務しながら、子どもの睡眠に関する研究を行っていました。その際、睡眠のデータを保存する必要が生じたのですが、そのデータ量が大きすぎたため、データを保存できる形に変換するソフトが必要になりました。しかし、そのようなプログラムは市販されていなかったため、独学でプログラミングを習得し、必要なソフトを自作していました。その結果、私は医師としての知識を持ちながら、プログラミングの知識を持つといううちよつと珍しい人物になりました。そのような背景から、医療現場にAI技術を導入する際、医師と開発者という専門家同士の意見の擦り合わせがスムーズにできるよう、

私が間に入って調整するという役割を担っています。

■卒業後の在校生との関わり

あるとき先生からお話をいただき、在校生に私の経験を話してみないかと誘っていただきました。都市部出身の学生と地方出身の学生の間に情報格差があると感じていたので、自分の経験を母校や新潟に還元したいという気持ちから、これを引き受けました。やってみて私も非常にモチベーションが上がりましたし、在校生にとって卒業生の知識や経験を聞くことができることは素晴らしいことだと思えます。同窓会の皆さんも機会があればご自身の経験を在校生に伝えてもらえればと思います。

■在校生に向けて

新潟高校のいいところは「出る杭が打たれない」ことだと思います。新潟高校は自分で責任を持つ限り自由に自分の意思で活動することができるとも素晴らしい環境だと思えます。このような環境を存分に生かして、強い意志を持って自分の人生を切り拓いてほしいと思います。

各 地 青 山 同 窓 会

第12回東北青山同窓会参加報告

小竹 輝信(114回)

06卒

2024年11月30日、仙台市(江陽グランドホテル)で第12回東北青山同窓会総会が開催されました。

総会では笹川稔郎会長(82回)が議長として議事を進行され、決算、予算関係などが確認されました。

講演会では、小林正明副会長(86回)が「イノベーション・インフラとしてのNano Terasu」と題して講演くださいました。

小林副会長は、光科学イノベーションセンターの副理事長、東北経済連合会の理事を務めておられます。

Nano Terasuは東北大学青葉山新キャンパス内にある次世代型放射光施設(正式名称:3GeV高輝度放射光施設)で、2024年4月に運用が開始されたこと、周長350mの円形加速器から出る高輝度X線を使ってナノレベルの原子や分子の世界を見ることができ



こと、産業分野での活用も広がり新潟県の企業の活用例もあることなどを分かりやすく紹介いただきました。青山同窓会からは吉田会長、敦井副会長に出席いただきました。校長先生からのメッセージを含め、母校や新潟の最近の様子を知ることができました。

私は今回、幹事として準備から担当しました。決して潤沢ではない幹事団ではありますが、年次も仕事もさまざまな皆さんが講演や懇親を楽しんでいる様子を

みて、オンライン配信も含めて分担して準備してきた甲斐があったと感じました。

東北にいながらまた東北青山同窓会に参加したことがない方も多いと思います。ごちんまりとしていて参加者がすぐに打ち解けられるのがメリットだと思いますので、ご都合が合えばぜひご参加いただければと思います。

東北青山同窓会総会・講演会

今年度の東北青山同窓会総会・講演会は、以下のとおり開催を予定しております。

2025年11月29日(土)16時～

詳細は、決まり次第Facebookグループページ、電子メール等でご案内いたします。

過去に東北青山同窓会の案内を受領したことがない方で案内を希望される方、連絡先に変更がある方は、電子メールで、①氏名、②卒業年、③住所、④電話番号をお知らせください。

【連絡先】 電子メール: kotake8708.biz@gmail.com (幹事)

同 期 会

「青山68会展」を改称して継続します

田中 宣男 (68回) **60卒**

昨年で20回を迎え、惜しまれながら(?)これでひと区切りと終了を宣言した「青山68会展」ですが、暇で元気なメンバーが退屈しのぎとボケ防止のため、やれるところまで続けようという案が多数あり、話し合いの結果、規模を縮小して再開することになりました。

84回同期会開催 毎年開催

宮崎 清也 (84回) **76卒**

令和7年1月19日曜日、84回(1976年卒業)の同期会を新潟グランドホテルにて35名の青山健児が出席のもと開催しました。

84回同期会開催はコロナ禍のため、しばらく休会していましたが、本年から毎年開催に戻しました。毎年開催ともなると、確かに出席者はやや少なめになりますが、参加者も半数は入れ替わりますし、会えなくなつた時の無念も避けられます。ま

た、分科会として、年2回のゴルフ会、夏の新潟祭り花火大会、ビヤホール会、活発な女子会が各開催されています。

今回もホテルの協力も得て、二次会もそのまま会場にて開催し、ほぼ全員が参加し、19時30分散会までの4時間を大いに盛り上げました。乾杯後、クラス毎の出席者全員の近況報告が続きました。3年ぶりの笑顔披露が続きました。宴会の締めは、小黒(小林)志津江さんの大音量による応援歌斉唱。皆、丈夫、エールを腹の底から大きな声で歌い上げました。その後、三次会、四次会と古町を流したとのこと。

次回は令和8年(2026年)1月18日第3日曜日に開催です。我々84回生は懐かしい仲間と会うために、これからも毎年開催を続けていきます。これからも青山同窓会の皆様の繁栄と弥栄を祈念いたします。

祝・50歳記念大同期会を開催いたしました

代表幹事 小林 あかね (101回) **93卒**

令和7年1月3日に、ANAクラウンプラザホテルにて、101回卒業生一同の早寿を記念し、祝・50歳記念大同期会を開催致しました。40歳のときに同期会が開催されて以降、10年ぶりの

続々と集結する仲間たち。あつという間に気持ちちは高校生の頃に限り、話に花が咲く中、品田泰さんの挨拶で開会、生徒会長だった浅野洋平さんの乾杯の発声にて開宴しました。

大同期会となりました。コロナ禍を経て、会いたい人に会いたい時に会えることがいかに素敵なのかを実感された方は多いと思います。ちょうど早寿・50歳という節目の年を迎えることもあり、ぜひ同期でリアルに顔を合わせて久しぶりに集いたい、という気持ちで、10年ぶりの大同期会を開催しようと声を上げました。

10年前に構築した連絡先一覧の確認から始まり、各クラス幹事から様々なつながりを経ての連絡網は、大きく拡がりました。当日は10年前とほぼ同規模118名が集いました。なんと、この会のためにシンガポールから駆けつけてくれた仲間も!!懐かしい校歌が流れる会場に

久しぶりの再会に、会場内が盛り上がりつつある中、浅野洋平さん、品田泰さん、若山裕伸さん、品田泰さん、会場のANAクラウンプラザホテルさんから寄せられた多くの協賛品やサプライズプレゼントを懸けての、クラス対抗クイズ大会へ。新潟高校の応援歌の歌詞当てクイズや、在校当時のヒット曲、流行語大賞などをプレイバックしたクイズで大変盛り上がりました。楽しい時間はあっという間に過ぎ、一次会は応援団だった佐野健太さん、そして有志として小林星河さん、星野哲範さんによる『丈夫』の大合唱で閉会。その後会場を移し二次会、三次会、そして四次会まで楽しい夜が続きました。またの再会を約束し、楽しい夜は幕を閉じました。

この会をきっかけに、学年全体のLINEを作成したところ、どんどん拡がり、今もなお成長中!です。会の開催にご協力頂きました多くの仲間に、心より感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

OB会

フェンシング部OB会
懇親会報告「遠藤聡一さんを悼んで」

石原 基規 (88回) 80卒

去る3月1日(土)フェンシング部OB懇親会を開催しました。会場は前回と同じ「魚や片桐寅吉」でした。83回の阿部さんから130回の大学生の乙川さんまで、幅広い層の方が26名集まりました。

今回は84回の正木清貴さんが、わざわざ東京から参加していただいたことが特筆すべきことです。前回の懇親会には奥さんの86回の正木智子さん(旧姓

山本)さんが、参加してくれました。正木さんはNHKの記者をされていました。1985年の日航機墜落事故では、現場からリポートされており、仲間内では思い出話としてよく話題になります。

懇親会は85回の富山泰男さんの、昨年10月2日に亡くなられた87回の遠藤聡一さんへの、献杯で始まりました。遠藤さんはインターハイ・エペ競技で2位



になられたほか、早稲田大学ではインカレのエペ競技で優勝された方です。新潟高校でもずっと現役生にフェンシングを教えておられ、新潟県フェンシング協会理事長も務められていました。たくさんの方の新潟高校フェンシング部OBが遠藤さんにお世話になっています。

今回は遠藤さんの

長女で116回の遠藤理紗さんが、遠藤聡一さんの在りし日の写真を持って、懇親会に参加してくれました。因みに理紗さんもインターハイ・エペ競技で優勝しています。

写真の中には昨年のパリオリピックでエペ競技団体銀メダルに輝いた古俣聖さんが、メダルをもって遠藤聡一さんを表敬します。

本当に遠藤さんが早世されたことは悔やまれてなりません。心からご冥福をお祈りいたします。

青山艇友会

漕艇部創設130年、総会大盛況

青山艇友会 幹事長 神林

正浩 (89回) 81卒

令和7年は旧制新潟中学校端艇部・新潟高校ボート部の創設130年に当たります。この記

念すべき年の3月22日に青山艇友会定時総会を、青山同窓会副会長渡邊毅様(85回)、新潟県



ローイング協会会長坂上英行様およびボート部顧問立川勝則先生・高橋裕裕先生をご来賓にお迎えし、オンライン参加者を含む総勢19名で盛大に開催いたしました。特に今回は20代・30代の若人の参加も嬉しいことでした。総会では、令和7・8年度の役員改選を諮り、櫻井優会長(80回)・井上聡副会長(89回)を再任し、長谷川聡副

会長(102回)を新任で選出。さらに、新任幹事として山川里美氏(114回)・紫竹貴司氏(119回)が加わり、役員体制の若返りが図られました。令和7年度事業計画においては会報発行や現役選手との懇談会などを企画しています。

また、顧問の立川勝則先生から部活動の近況報告があり、「令和6年度は4クルーがインターハイ出場、近年予選通過できるくらいにレベルが上がった。新潟高校の中でも一番ホットな部活動である。さらに卒業後もボートを続ける部員が増えてきた」とのこと、現役選手・卒業生の活躍に胸が熱くなりました。

懇親会では、大学でもボート

【総会出席会員】渡辺研二(75回)、水沼真一(78回)、櫻井優(80回)、佐藤正昭(80回)、井上聡(89回)、神林正浩(89回)、工藤裕人(90回)、石橋純(92回)、加藤敢士(96回)、長谷川聡(102回)、山川里美(114回)、紫竹貴司(119回)、田畑佑樹(125回)、金谷りさ(131回)、嵩岡千咲(131回)

青山剣友会 新年会開催と近況報告

青山剣友会事務局代表 川本良樹 (121回) 13卒

【新年会】令和7年1月4日に、令和6年度青山剣友会新年会をホテルイタリア軒にて開催いたしました。総勢26名の会員が参加され、顧問の先生からの部活動近況報告や会員同士のご歓談を通して、親睦をさらに深めることが出来ました。

新年会の初めに、小川和恵先輩(101回)より自身の経歴や仕

【新入会員歓迎会】令和6年度卒業生に向けて、青山剣友会新入会員歓迎会を東映ホテルにて



開催いたしました。卒業生の 2 名（男子 1 名、女子 1 名）が青山剣友会に入会し、歓迎会を通して現剣友会員と交流を行いました。新たな若いメンバーを加え、さらなる青山剣友会の発展を図って参ります。

【OB 合同稽古会】
毎月 1 回を目標に、新潟高校剣道場にて現役生・OB を中心に合同稽古会を開催しております。昨年度は女子が北信越大会に出場するなど、母校剣道部も結果を残してきており一層 OB の指導にも熱がこもっております。OB から様々なことを吸収し、現役生がさらなる成長を遂げることを期待しております。

写真は令和 6 年度新年会稽古会です。



毎年の恒例になりました青山レスリング OB 会を、11 月の第 2 土曜日にホテルサンルート新潟にて開催致しました。今回は 14 名の参加でしたが、県外からもこの会に合わせて里帰りされたりと、みなさんお変わりなく元気に顔を会わせることが出来ました。

開会にあたり金子会長から挨拶をいただき、その後声高らかに乾杯して賑やかに盃を酌み交わしました。しばらくして喉も潤って滑らかになった所で順番に近況報告となりました。

出席者の大半が 70 歳以上になりましたが、昨年の OB 会からわずか一年の間の、大病の経験とその克服のお話や、自治会役員での活躍、まだまだ現役で活躍のお話など相変わらずの丈夫ぶりを披露して頂きました。その中でも久しぶりにスパリングをやりたいと相手を求める先輩もいて、裏返して言えばたまに現役のところに顔を出したいけれど高校にはもうマツがないという現実を寂しいと思う心情的なかと思えます。思い起こせば最後の現役生がいなくなつて 30 数年、その後学校からマツを撤去しても良いかとの打診があり「やむなし」と回答してからも長い年月が経ちました。今の後輩たちには新潟高校にレスリング部があったことなど信じられないことなのかもしれません。

しかし、オリンピックになるレスリングが話題になり盛り上げるのに、今の現役にやってみよう

かと思う人はいないのでしょうか？もし、知り合いやご親戚等で興味のある方がいたら我々 OB が総力を挙げて応援させて貰いますので遠慮なくご連絡ください。

「青山ソフトテニスクラブ」はソフトテニス部の卒業生で構成され、現役生の支援や OB・OG 同士の交流を中心として活動しています。

毎年 8 月 14 日に総会と同時に開催されるのが、「ソフトテニスを楽しむ会」です。新潟県内はもちろん、全国各地から集まった OB・OG に現役生も交えた交流試合が開催されます。コロナ禍での中止を乗り越え、2023 年に再開、2024 年も開催し、多くの方が本会に駆け付けてくれました。

交流試合は真剣そのもので、会心のショットに喜び、試合の結果に一喜一憂するのは現役時代と変わりません。しばらくボールを打っていないだけでもウォーミングアップ程度で当時の感覚を取り戻す方が多く、近

OB 会名簿の一番若いメンバーでも 50 歳台になりましたので、会を存続させ盛り上げていくためにも新たなステージの展開を切望して OB 会の報告とさせていただきます。

夜は懇親会が開催されます。やはり同じ場所での同じ経験をした同士、高校時代の思い出話が多いように思います。私個人としては、当日の交流をきっかけに、近い世代の方たちとプライベートでソフトテニスをする機会が増えました。健康面でも、仕事面でも、とても良い刺激になっています。

なお、本会の開催にあたっては、運営に携わって来られた先輩諸氏にも、この場を借りてお礼申し上げます。今後も、幅広い世代が気軽に集まれるこの素晴らしい会を続けていきます。

2025 年は 8 月 14 日（木）に新潟市西総合スポーツセンターの屋外コートで開催します。

試合の時間以外も、参加者同士で当時を思い出したり、現在の生活や仕事について語り合ったりしている様子を見ると、「そこに行けば懐かしい顔に会える」場所として歴史が積み重ねられてきたことを実感します。現役生が参加する事もあり、のびのびとした試合を展開する我々のプレーやアドバイスが、多少なりとも参考になっているようです。



青山ソフトテニスクラブ OB 会 元気に活動しています

関川 貴大 (119 回) 11 卒

同
好
会

第50回青山ゴルフ会開催

滝沢 俊一 (104回) '96卒

5月25日、青山ゴルフ会の記念すべき50回大会が新津カントリークラブで開催されました。

本来昨年の秋に開催をする予定でしたが、台風の影響でやむなく中止。今回はそのリベンジとなりました。

当日は総勢29名が参加。61回から114回まで53歳差の校友が親交を深めました。ゴルフはあいくの天候に加え、新津カントリークラブの起伏の激しいコースに苦しめられた方も多かったようです。

記念大会の優勝者は武田浩昭さん(88回)でした。スコアは43、45の88。卒業回に合わせたスコアで見事に優勝を果たしま



した。2位はネット0.8差でベスグロ82の武者正人さん(107回)でした。

表彰式では成績発表に一喜一憂しながら、和気あいあいと過ぎました。そして最後に新津カントリークラブからご協賛いただいたキャディバッグの抽選会をくじ引きで行いました。

青山ゴルフ会会長の長谷川義明さん(61回)が引き当てたのは68回加藤達雄さんでしたが、体調不良でゴルフの欠場を余儀なくされたものの、幹事として汗を流した品田泰さん(101回)にその権利を譲るという温かいお言葉で品田さんが当選しました。

最後は、キャディバックをもらった勢いそのままに、品田さんの指導による丈夫とエールで締めくくりました。ご参加の皆様お疲れ様でした!

青山鳥鷺の会のご案内

齋藤 繁夫 (77回) '69卒

名称 青山鳥鷺の会

青山同窓生と在校生(特に囲碁部員大歓迎)、現・旧職員とで囲碁を楽しむ会です。

元県名人といった高段者から級位者まで様々な力量の会員がそろっています。

前述の会員条件に該当しない方も入会できます。後述の事務

局まで、ご連絡ご相談ください。

入会費・年会費無料です。

会長 小林啓志(66回)

会員数 現在25人 会員募集中

今年度例会

令和7年7月26日(土)

令和8年3月8日(日)

特
別
寄
稿

火坂雅志さんの酒椿忌に参列しました

渡邊 友昭 (83回) '75卒

今年2月26日(水)はNHK大河ドラマにもなった「天地人」など数々の歴史小説を書いた作家火坂雅志(中川雅志さん83回)の祥月命日で、「酒椿忌」が神奈川県平塚市の曹洞宗慈眼寺で執り行われ、初めて出席しました。没後十年忌、早いですね。

慈眼寺には6年前の8月にこのお墓にお参りして以来でした。「酒椿忌」という名は昨年春まで新潟日報に50回に渡り掲載された火坂さんの奥様、中川洋子さんの随筆「愛と義のひと

私は火坂さんとは高校2年、3年と同クラスで学び同じ大学

午前9時 鳥鷺の会

四局対局

昼食付き2,000円

在校生は1,000円

午後3時 懇親会

飲み放題6,000円

会場 旅館長岡屋 新潟市北区JR豊栄駅南口から駅を

背にして直進徒歩三分025(387)2245

*順位に応じて対局者全員にもれなく日本棋院商品(棋士揮毫扇子・碁盤ハンカチ・湯呑・冊子など)を差し上げます。

*片方のみ(鳥鷺の会だけ、懇親会だけ)の参加も可能です。

連絡先 025(386)1560

電話・FAX共用

青山鳥鷺の会事務局

齋藤繁夫(旧職員・77回)

入会ご希望の方は事務局までご連絡ください。会員には別途ご案内いたします。



ディアシップで開催された「お別れの会」にも出席できなかったのが、初めて公に法事で弔うことができてよかったです。

今回は青山83回生同期の梁川淑広さん、渡辺正昭さん、大塚芳彦さんと一緒に参列しましたが、火坂さんを含め、偶々全員が早稲田大学で学んだ同窓にもなり、高校大学と7年間+α同じキャンパスで同じ空気を吸っていたことも感慨深く思いました。

火坂さん没後10年。58歳で逝去は早すぎました。もつと活躍されただろうし、たくさん作品を読みたかったです。あらためてご冥福をお祈りします。合掌。

「中東」を新潟に伝える

曾我 太一 (113回) '05卒

中東と聞くと、戦争や紛争などニュースで聞くような殺伐とした地域という印象をお持ちかもしれませんが、実は古代エジプト文明から十字軍遠征、さらにはかつてスペインの大半を支配下に収めたイスラム王朝など、世界史の中心を彩ってきたといっても過言ではないかもしれません。

そんな中東の核心でもあるエルサレムに、縁もゆかりもなくNHKの特派員として赴任したのが2020年。それから現地での生活も5年目となりました。特派員としての職務を終えた23年には、12年間務めたNHKを退職し、フリーランスとして独立。現在は新潮社フォーサイトやニュースウィークなどに中東情勢の記事を執筆しています。そんな私に中東と新潟を繋ぐチャンスが訪れたのが去年の秋です。高校剣道部の先輩から声



がかかり、今年1月からBSNラジオで「四畳半中東支局(毎週水曜午後4時半〜)」と題し、ありのままの中東の情報や文化を伝えるコーナーを担当することになりました。

普段は小難しい政治や紛争の話を中心に執筆していますが、ラジオでは中東の食や酒、さらには話題のマンガなど、文字通り多様なテーマを取り上げたいです。

例えば、イスラム教では飲酒は禁止されていますが、実は「イスラム教徒」の家系でも、世俗的な人々の中には酒を飲む人々もいます。また、中東では女性が髪を隠すためにヒジャブと呼ばれるスカーフをかぶっているイメージもあると思いますが、全ての国で強制されるわけではなく、長い髪を靡かせながら颯爽と歩く女性もいます。そんな現地在住ならではの話を届けていきたいと思っています。メッセージもお待ちしております。ソーシャルメディア: X (旧 Twitter) @soga_taiichi

新潟高校クイズ同好会の AQL全国大会奮戦記

遠藤 聡 (89回) '81卒

会員の皆様はクイズを目にする機会がおりかと存じます。最近はテレビ番組のほか、YouTubeやスマートフォンのアプリでもクイズを楽しめるようになり、大学や高校など学校のクイズ活動も盛んに行われています。

新潟高校では2010年にクイズ同好会が発足しました。私は縁あって当時のメンバーと交流があったことから同好会活動への支援を行っています。

クイズ同好会の活動の中で目標の一つとなっているのが「AQL (All-Japan Quiz) 全国大会は3月に東京で開催



り1戦の時点で3勝1敗の2位でしたが、最終戦では早稲田中・高に敗れ得失点差で4位となり、惜しくもベスト8進出はなりませんでした。

悔しい敗戦ではありますが、全国の強豪校に新潟高校の強さを十分見せることができました。またクイズノックの伊沢拓司さんと交流する機会もあり、伊沢さんから直接激励を受けたことは参加メンバーには良い刺激になったようです。

クイズは高校文化連盟の活動ではなく正規の部活動ではありませんが、このように真剣に取り組んでいる高校生がいることを青山同窓会の皆さまに知っていただきたく、今回筆を執った次第です。掲載いただきありがとうございます。

坂口安吾生誕120周年特別企画「風に吹かれて」

第2回 坂口安吾を新潟名誉市民に!?

新潟青陵学園・理事長 篠田 昭 (75回) '67卒

亀田郷土地改良区の理事長を長く務めた佐野藤三郎氏(故人)が昨年、73年ぶりに新潟市の名誉市民に選ばれました。市の名誉市民は4人目で、没後に選ばれたのは初めてでした。新潟の低湿地帯を美田に変え、中国・

「亡くなられた方でも良ければ、坂口安吾こそが新潟市の名誉市民にふさわしい」との声が文学愛好者から挙がり、新潟市議会有志もこれに呼応する動きが出てきています。

作家・坂口安吾は、ご承知のように新潟高校の前身である旧新潟中学校の在籍者です。護国神社にある安吾の文学碑、「ふるさとは語ることなし」を眺めて、その意味を自らに問いかけ

母 校 は 今

東京大学入学式 入学生総代宣誓

今春母校を卒業した上村綾美さん（133回）が、東京大学入学式で入学生総代として宣誓をされました。その宣誓文を紹介します。

本日はこのような素敵な式典を御挙行いただき誠にありがとうございます。東京大学での生活を始められますことを入学生一同心より嬉しく、晴れがましく思います。今まで支えてくださった全ての方々に心から感謝申し上げます。

さて、今は空前の第三次人工知能ブームです。絵を描き、文章を紡ぎ、膨大なデータ処理をもつて我々を圧倒する人工知能の進行スピードを見れば、AIとの共存を実現した将来、どのような景色がひらけていくのか想像できません。では、現在我々ができることは何でしょうか。結局それは太古の昔から変わらず、未知を開拓し答えのない問いに向き合うことです。

「逆の文学者」とも「無頼派作家」とも呼ばれています。私は、旧来の価値観や権威に果敢に挑戦した安吾を愛する一人です。折しも来年は「安吾生

誕生120年」の記念年。新潟市が安吾を名誉市民にしたら、挑戦者魂を愛し支持する新潟の市民性も内外から評価されるのでは—そんな気持ちで成り行きを見守りたいと思っています。

世界はかつて今ほどクリアではありませんでした。そこに数字や言語などのシステム、哲学や科学などの学問を創造し、世界を明確に捉えるフレームを与え継承し歴史を形成したのが人類です。その先に未来を繋いでいくのが私たちです。これだけAIや科学技術を発展させるに至った人類ですが、今日も世界中で凄惨な戦いが続いています。恒久平和という、人類普遍の願いかつ未達成の難題に対し、一人ひとりが国際社会への参画を自覚する。文化や言語の異なる国で空爆に震えるその人が誰かの大切な人で、自分たちと同じように平和と幸福を希求していると理解する。今、平和を享受する身としてどれだけこれらの

ことができているのか、どれだけ国境を超えた地に想いを馳せられているのかと自問しています。1920年代に初めて台本中にロボットという言葉を使ったチャペックの戯曲「ロボットR. U. R.」が喝采を浴び、SF作品とそのファンが増えるにつれ何度も論じられてきたことですが、一様なデータの集積であるAIに対し、人間には自然発生的な個体に固有の感情があります。得意分野、価値観、背景の異なる人々が、一人が二人、二人が三人と集まれば個人の能力の単なる合計ではなく、人間特有の相乗効果によるパフォーマンズの向上が見られることでしょう。だからこそ、私たちは今日、この学び舎に集いました。各分野を牽引される先生方、初めて触れる学問、ともに学びを探究する友との出会い、全てに期待で胸が膨らみます。ポーターを超え協働して歴史を紡ぐことのできる、深さ、厚さ、柔らかさのある人材となるため、周囲への感謝とリスペクト、素晴らしい環境で学ぶ機会に恵まれた自覚、責任を持って、日々邁進することここに誓い、新入生代表の挨拶とさせていただきます。

令和 7 年 4 月 11 日

理科Ⅲ類 上村綾美

主な大学合格者数（現役合格者延べ数）

* 空白は未受験、0は合格者0

大学名	国公立大学						
	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
北海道大	7	12	5	10	13	10	14
旭川医科大	0	0	0	0	0	0	0
東北大	24	19	18	28	23	33	27
秋田大	3	3	3	1	3	3	0
山形大	4	3	3	4	5	2	2
筑波大	8	7	9	12	5	4	9
埼玉大	3	4	1	2	2	2	1
千葉大	5	5	6	7	2	12	7
東京大	11	8	3	9	3	8	8
東京外国語大	5	2	2	2	1	4	2
東京学芸大	3	8	5	3	3	2	3
東京科学大(旧東工大)	1	4	1	3	4	8	5
東京農工大	1	2	0	1	0	1	1
お茶の水女子大	1	1	1	2	0	1	
電気通信大	1	1	2	1	0	0	
一橋大	2	3	2	3	3	3	3
横浜国立大	4	4	6	7	3	5	5
新潟大	52	53	63	53	66	64	56
富山大	4	3	3	4	2	4	4
金沢大	7	2	10	8	9	5	8
信州大	2	2	2	2	2	2	5
静岡大	0	1			0	2	1
名古屋大	1	0	1	1	1	3	1
京大	6	4	5	8	4	8	5
阪大	2	1	6	2	2	3	3
神戸大	0	2	1	2	0	1	2
九州大	1		1	1	2	1	2
福島県立医科大	1	1	0	1	0	0	1
東京都立大	1	6	4	1	3	2	5
横浜市立大	1	0	3	1	0	0	2
新潟県立大	13	10	9	4	7	10	5
静岡県立大	0			0	1	1	1
大阪公立大	0		市大1		0	0	0
その他	22	8	15	19	8	16	16
合計	196	179	190	201	178	219	201

大学名	私立大学						
	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
早稲田大	13	16	19	19	9	19	22
慶應義塾大	15	9	14	16	8	16	22
上智大	5	6	7	3	7	14	10
東京理科大	15	9	24	17	22	32	28
明治大	26	22	38	26	26	51	41
立教大	11	10	22	5	9	28	23
法政大	13	19	29	7	18	37	42
青山学院大	8	1	7	8	9	15	13
中央大	31	40	40	38	27	49	32
学習院大	3	0	5	2	2	3	3
国際基督教大	2		1	1		0	
北里大	7	2	6	5	1	5	9
国学院大	4	4	2	2	0	3	0
駒沢大	4	3	4	1	6	7	6
自治医科大	3	0	0	0	1	0	0
成蹊大	5	1	2	2	2	9	6
成城大	2		1	4	0	1	1
専修大	4	2	4	12	2	5	6
玉川大	0		1		6	2	
津田塾大	4	1	4	1	3	3	
東海大	3	0	6	10	0	1	1
東京農業科大	10	8	20	8	10	5	1
東京薬科大	1			1	3	2	2
東京女子大	4	5	3	3	4	4	0
東邦大	1		1	1	0	2	2
日本大	5	5	7	8	15	15	8
日本女子大	3	1	4	2	2	2	1
明治学院大	2	1	2	4	2	1	5
文教大	1	4	0	2	3	5	0
神奈川大	1	1	2	1	0	2	7
新潟薬科大	5		4	6	5	5	3
同志社大	6	7	11	19	6	15	13
立命館大	12	8	25	20	9	10	19
関西学院大	0	1	3	0	1	1	0
その他	40	45	78	66	77	121	134
合計	269	231	396	320	295	490	460

令和7年度入試概況と結果

進路指導部長 近藤 善龍 (92回) '84卒

<令和7年度入試概況>

1 志願者数は7年振りに増加・現役占有率も過去最高

共通テスト5年目となる令和7年度入試は、志願者数が49万5,171人となり2年連続50万人を割るも、現役占有率は86.0%と過去最高でした。これは昨年度に比べ18歳人口が多かったことによるもので、今後数年は18歳人口がほぼ同程度に推移するため、来年度の志願者数も今年度と同様な傾向になると思われます。

2 最初の新課程入試

2022年度に導入された新学習指導要領に基づく出題となった初年度ということで注目されました。大きな変更は教科「情報」が試験科目に入り、従来の5教科7科目から6教科8科目を原則とする出題となりました。また、国語・数学での試験時間の変更とそれに伴う出題内容に変化があったことが大きな特徴です。

(1) 教科「情報」は初年度は高得点

60分で100点の配点ですが、大学によって傾斜配点されるため、圧縮して50%以下にする大学が多く、配慮がありました。内容については、特にプログラミングのところが難しいと予想されましたが、配点された25点のうち、10点分はプログラミングの知識がなくても解ける問題だったこともあり、全国平均点は69点と高くなりました。

本校の情報の授業は2年生で終わり、3年1年間は授業がなくそのまま本番となります。それでも80点を超える平均点で自律的に学習して高得点を取っていました。3年次の模試で復習することでも高得点につながっていました。

(2) 「数学」「国語」の試験時間が10分長くなった

「国語」「数学ⅠA」「数学ⅡBC」の試験時間がそれぞれ10分延びました。「国語」は大問4つから5つになり、「数学ⅡB」も「数学C」が加わりました。「数学ⅡBC」を構成する大問7つの内、3問は共通問題、残りの4問は選択問題となっており、数Bの「数列」「確率分布と統計的な推測」数Cの「ベクトル」「平面上の曲線と複素数平面」の

中から3問を選択することになっています。「平面上の曲線と複素数平面」はもともと数Ⅲの分野であることから、多くの文系選択者が敬遠する動きを見せ、ふたを開けてみると「平面上の曲線」は出題されておらず例年に比べて比較的易しい問題が並んだので結果的にここが狙い目になったと思われます。全体的な難易度は大きく変わっていませんが、平均点は昨年より6点以上低い全国平均となりました。

3 来年度から受験生各自で電子申請に

従来は出願手続きは高校側で取りまとめていましたが、受験生本人が大学入試センターに直接電子申請をする形へと移行します。検定料も電子決済が可能となる予定で、詳細は今後公表されることになっています。出願について、今後はすべて受験生の自己責任になるということです。

4 医学部医学科

地域枠を設ける私立大学（東京医科、北里、杏林、昭和、東邦、日本医科、日本、順天堂、獨協医科、帝京）での合格が増えてきました。新潟大学は高い学力の他に、面接で「SJT」（シチュエーション・ジャッジメント・テスト）と言われる状況判断テストが課される形式に変更されて2年目です。自分自身の価値判断の基準を自覚的に把握し論理的に説明できる力が求められています。

5 既卒生も含め数字以外の健闘も

今春の合格者数としては厳しい結果となりました。難関大は東大以外の各大学で数名ずつ減になり、浪人の数が2年連続2桁だったのが、3桁に戻ってしまいました。

しかし東大の新入生総代に本校卒業生が選ばれたり、東北大で各学部の優秀な学生を表彰する総長賞を本校卒業生が受賞したり、北海道大学でも首席で卒業して総代となったのが本校の卒業生だったりなど、大学進学後も変わらず真剣に学業に取り組み、成果をあげたという朗報が寄せられています。「質」の上で誇れる結果をいただいています。

教壇に立つて

教育実習生 川辺

俊介 (130回) '22卒

5月19日から6月6日までの3週間、教育実習生として母校で再び学ぶ機会を得ることができました。短期間ではありますが、教わる側から教える側として母校に帰ってくることでできた喜びを胸に、日々全力で実習に臨みました。3年間慣れ親しんだ学び舎には、大学のラウンジのように整備された進路相談室、各教室に設置された大きな電子黒板、パンだけでなくお弁当や麺類も販売している購買など、見慣れない光景もいくつか

教育実習での大きな学び

教育実習生 関口

泰心 (130回) '22卒

三週間という短い期間ではありましたが、教育実習生として、母校である新潟高校で実習ができるという貴重な機会を得られたことを、本当に嬉しく思います。自分が通っていた頃とは全く違う学習環境の中にあっても、勉強・部活動・行事と、全てに全力を尽くし、積極的に関わり合う姿勢に、以前と変わらぬ丈夫魂を感じました。

その分、私も一教員として生半可な態度では向き合えないと、

前にして、準備してきたことを最大限発揮することの難しさを痛感しました。同時に、先生方の授業をいくつか見学し、それぞれがさまざまな工夫を凝らして授業を作り上げていることを知ることができ、大変勉強になりました。実習を通じて学んだことを活かし、子どもたちの未来を切り拓けるような教師になることをここに誓います。指導教員の小池先生をはじめ、ご指導くださった先生方、職員の皆様、そして生徒の皆さん、本当にありがとうございました。

学びに向かう新潟高校だからこそ得られたものがたくさんありました。単なる指導の方法だけでなく、人どう関わっていくのか、教員としてどう働いていくのかという点でも、自分を見直す良い機会となりました。

結びとなりますが、指導教諭の高野先生、HR担任の西脇先生をはじめとした先生方、生徒の皆さん、職員の皆様に、この場をお借りして感謝申し上げます。この実習で得られた、忘れられない学びのもと、今後も精進を続けます。三週間本当にありがとうございました。

<令和7年度新潟高等学校県総体等結果報告>

陸上競技	男子：棒高跳	第7位	増子 岳暁	
	4×100MR	第6位	湊木 千広・藤田 孝惇・渡邊 陵太・池田 開翔 (北信越大会出場)	
バレーボール	女子：棒高跳	第6位	曾我 真央	
	男子：1回戦	新潟2-0	日本文理	
	2回戦	新潟0-2	上越総合技術	
	女子：1回戦	新潟2-0	三条商業	
バスケットボール	2回戦	新潟0-2	東京学館新潟	
	男子：1回戦	新潟49-83	三条	
	女子：1回戦	新潟84-70	新津	
	2回戦	新潟50-65	新発田中央	
卓球	男子：シングルス	加藤 大地	出場	
	ダブルス	加藤 大地・宮田 藤誠	出場	
		安藤 和生・山際 淳哉	出場	
	女子：学校対抗	1回戦	新潟2-3	三条
	シングルス	富樫 世愛	3位 (全国大会出場)	
	ダブルス	富樫 世愛・桑原 菜々子	3位 (北信越大会出場)	
バドミントン		澤田 真菜・窪田 咲良	出場	
	男子：学校対抗	1回戦	新潟3-0	高田商業
	2回戦	新潟1-3	新潟商業	
	女子：学校対抗	1回戦	新潟3-0	長岡向陵
	2回戦	新潟1-3	佐渡総合	
	2回戦	新潟2-4	高田	
サッカー	ラグビー	1回戦	新潟15-51	新潟工業
	柔道	男子：団体戦	新潟1-4	東京学館新潟
			新潟0-5	帝京長岡
	個人戦	73kg級	神田 遥陽	2回戦敗退
			石田 晁琉	2回戦敗退
			堀 凌馬	2回戦敗退

剣道	女子：団体戦	新潟0－3開志国際
		3位決定トーナメント 新潟0－2新発田
	個人戦	48kg級 笹川茉悠果 出場
		48kg級 駒形 理奈 出場
		63kg級 渡辺 一愛 出場
		70kg級 萱森さくら 出場（北信越大会出場）
	男子：団体戦	出場
	個人戦	西森美智琉 2回戦敗退
		桐原 清信、佐藤陽那太 1回戦敗退
	女子：団体戦	第5位
山岳	個人戦	佐々木望美 3回戦敗退
		波田野 樹 2回戦敗退
		矢野奈々子、平岩 杏、八鳥 栞奈 1回戦敗退
	男子：優秀校（北信越大会出場）	
	女子：優秀校（北信越大会出場）	
	男子：団体	2回戦 新潟3－0長岡向陵
		3回戦 新潟2－0帝京長岡
		準々決勝 新潟0－2新潟第一
	ダブルス	佐藤 航瑛・熊木 陵真 2回戦敗退
	シングルス	佐藤 航瑛 2回戦敗退
テニス		渡辺 悠人 1回戦敗退
	女子：団体	1回戦 新潟2－1三条
		2回戦 新潟2－1新発田
		準々決勝 新潟1－2開志国際 ベスト8
	ダブルス	大関 萌生・山本 史夏 ベスト8
	シングルス	大関 萌生 3回戦敗退
		山本 史夏 1回戦敗退
	男子：団体	新潟0－3関根学園 1回戦敗退
	個人	水内 皓也・近藤 颯太 3回戦敗退
		若井悠太郎・石田 光 2回戦敗退
ソフトテニス		山本 悠太・西片 航太 2回戦敗退
	男子：学校対抗	2位
	個人フルーレ	2位 小杉耕太郎（全国大会出場）
	個人エペ	1位 緑川孝太郎（全国大会出場）
		3位 高野 温也（北信越大会出場）
		4位 宇野光太郎
	個人サーブル	2位 小杉耕太郎（北信越大会出場）
	女子：学校対抗	3位
	個人フルーレ	1位 小海 紗里（全国大会出場）
		6位 柳 咲希
フェンシング	個人エペ	3位 柳 咲希（北信越大会出場）
		4位 鈴木 楓菜
		6位 福岡 葵
	個人サーブル	3位 小海 紗里（北信越大会出場）
		4位 伊佐早沙都
		6位 廣瀬 美咲
	男子：個人	安達 共喜・石山晋太郎 準決勝進出
	女子：団体	6位
	個人	川崎 希・外川 季和 決勝進出 ベスト8
		細山 凛乃 準決勝進出
弓道	男子：シングルスカル	3位 本間 太陽（北信越大会出場）
	ダブルスカル	2位 星野賢太郎・益子 寧央（北信越大会出場）
		3位 江部 蓮平・白井竜乃介
	舵手付きクォドルプル	2位 仲山 陽太・千田 恭生・星野 泰知・
		伴内 瑞希・小島 健生（北信越大会出場）
		3位 渡邊 正悟・土田 礼恩・堺 永多・
		城代 晃寿・吉田 和真
	男子：シングルスカル	3位 本間 太陽（北信越大会出場）
	ダブルスカル	2位 星野賢太郎・益子 寧央（北信越大会出場）
		3位 江部 蓮平・白井竜乃介
ボート	舵手付きクォドルプル	2位 仲山 陽太・千田 恭生・星野 泰知・
		伴内 瑞希・小島 健生（北信越大会出場）
		3位 渡邊 正悟・土田 礼恩・堺 永多・
		城代 晃寿・吉田 和真
	男子：シングルスカル	3位 本間 太陽（北信越大会出場）
	ダブルスカル	2位 星野賢太郎・益子 寧央（北信越大会出場）
		3位 江部 蓮平・白井竜乃介
	舵手付きクォドルプル	2位 仲山 陽太・千田 恭生・星野 泰知・
		伴内 瑞希・小島 健生（北信越大会出場）
		3位 渡邊 正悟・土田 礼恩・堺 永多・

職員の異動

令和7年4月

表紙題字：小川 和恵 (101回)

「青山同窓会報」への寄稿をお待ちしております

原稿の字数は本文8000字程度で書いてください。9000字以上ですと紙面の関係で載せられなくなる場合があります。原稿については掲載時期や紙面制限の関係で、字句文章の修正、割愛をさせていただくことがあります。詳細は事務局までお問い合わせください。

締切の目安

総会号 (7月発行)

当年5月10日頃

新年号 (1月発行)

前年11月10日頃

同期会を開催される期の幹事の方へお願い

同期会の開催に合わせて、是非、会費納入者の拡大にご協力ください。開催の期日を早めにご連絡いただければ、事務局で「青山同窓会報」・会費納入のお願い・会費振込用紙・A4サイズが入る封筒(同窓会名入り)を人数分ご用意します。詳細は事務局までお問い合わせください。よろしくお願いいたします。



「青山同窓会報」ムは同窓会に掲載しています。バックナンバーとして今後掲載していきます。

〈退職 転出(転出先)〉

教頭 羽二生大輔

教諭 (柏崎常盤高等学校教頭)

押木 洋(再任用退職)

阿部見和子(退職)

増山 純一(新潟江南高等学校)

小林 智隆(退職)

矢代 淳(巻高等学校)

小口 洋平(五泉高等学校)

山上 達郎(県立教育センター)

大塚 義信(新潟西高等学校)

渡辺 誉志(高等学校教育課)

齋藤 倫明(県立教育センター)

吉田理矢子(保健体育課)

大関 祥子(再任用退職)

杉村 尚彦(新潟東高等学校)

立川 勝則(新潟東高等学校)

(柏崎翔洋中等教育学校)

谷川 永一郎(新発田高等学校)

飯田 美保(高等学校教育課)

事務長 小野 和人(退職)

(新潟県私学振興会)

非常勤講師 信田智恵子(退職)

羽豆 拓夫(退職)

(長岡高等学校)

非常勤養護教員 安藤 静羅

(退職)(佐渡市立畑野中学校)

(転入(前所属))

教頭 富樫 亮

教諭 小野 仁子(豊栄高等学校)

出来島太郎(分水高等学校)

高野 和人(新潟高等学校)

小林 智隆(新潟高等学校)

小野塚正行(新潟東高等学校)

丹羽 孝幸(新潟向陽高等学校)

勝 雅史(新潟商業高等学校)

佐藤亜紗美(新潟南高等学校)

山崎 健太(柏崎常盤高等学校)

古川 郁世(燕中等教育学校)

草間 淑之(少年自然の家)

教諭 笹川 敬史

(新発田高等学校)

保科誠一郎(長岡高等学校)

菅井 亮佑(長岡大手高等学校)

笹山 恵湖(村上中等教育学校)

伊藤 美佳(村松高等学校)

岡村 理恵(新潟向陽高等学校)

事務長 若月 敬志

(新潟地域振興局津川地区振興事務所)

非常勤講師 近藤 はな(新規)

前田由紀恵(新規)

非常勤養護教員 橋本和佳奈(新規)

卒業アルバム寄贈のお願い

会長 吉田 至夫

下記の学年及び旧制中学の卒業アルバムをお持ちの方は同窓会にご寄贈を検討ください。49回、52回、53回、54回、57回、95回ご寄贈いただける方は、青山同窓会事務局まで連絡をお願いします。

TEL/FAX 025-266-5268

メール niigata_aoyama@yahoo.co.jp

令和6年度後期 青山同窓会会費納入者

令和6年10月より令和7年3月末まで納入いただいた方を掲載しております。令和6年4月より9月末まで納入された方は前号に掲載済みです。

会費を納入していただきますと「青山同窓会報」を毎号お届けいたします。申し訳ありませんが、納入のない方には「会報」をお送りすることができなくなってしまいます。

全日制	69回S36年	76回S43年	岡田 潔	岸 亮子	廣橋 航	108回H12年	中屋 春美
60回S27年	小林 勲	尾張 明美	菊池 正俊	鍛間 春男	堀 敦彦	笠原 明博	13回S46年
伊藤 勝也	清水 隆	曾田 修吉	齋藤 伸二郎	武田 浩昭	丸山 まさみ	109回H13年	佐藤 利い
笠原 功	城田 敬子	太原 まゆみ	篠田 伸夫	中倉 拓哉	宮 敦	佐藤 朋江	畠山 澄子
小島 洋吉	松尾 健司	長井 一彦	鈴木 敦	本田 哲	93回S60年	110回H14年	15回S48年
田村 和郎	70回S37年	三沢 健	高桑 正一	本田 まゆみ	井東 昌樹	五十嵐 広明	保 莉 幸子
矢崎 芳直	石井 録二	湊 勝	豊田 清	吉岡 潤	小沢 謙一	113回H17年	16回S49年
61回S28年	石原 誠	若林 登	成田 美和子	吉川 史郎	横井 裕	坂口 純子	古川 とみ
草間 光俊	斉木 孝雄	渡辺 春夫	町田 昇	渡辺 利幸	94回S61年	白澤 光音	24回S57年
熊谷 隆幸	高橋 治夫	77回S44年	丸田 拓雄	89回S56年	坂口 穰	115回H19年	高松 昭夫
小林 孝司	野村 治	石黒 富士夫	横山 修	池 信平	箕輪 興仁	高橋 龍太	27回S60年
62回S29年	三国 政勝	齋藤 憲	84回S51年	大橋 亨	95回S62年	宮崎 美紀	栗原 隆
黒川 徹男	宮原 卓	高橋 卓	阿部 時也	佐野 哲郎	浅妻 信	116回H20年	宮澤 重与志
63回S30年	渡辺 允雄	田辺 謙二	今湊 良信	渡邊 克彦	河原 俊	根田 知明	30回S63年
荒井 正	71回S38年	78回S45年	小山 芳明	90回S57年	田村 要介	西部 由佳莉	荒木 真壽美
金川 博	関川 正利	齋藤 庫之丞	高橋 建造	大津 左栄子	牧野 孝尚	117回H21年	31回H1年
64回S31年	松田 裕子	関川 久男	田中 昌夫	古藤 浩	96回S63年	廣島 周平	高見 栄子
須田 嶺治	72回S39年	水野 亨	堀内 俊宏	佐藤 之彦	山本 哲也	121回H25年	滝澤 公晴
65回S32年	戸田 満弘	79回S46年	85回S52年	信太 典子	97回H1年	相澤 有香	32回H2年
安食 悟朗	長浜 敏男	阿部 毅	内山 衛次	隅木 信利	治田 千絵	122回H26年	田中 基
川瀬 忠正	船岡 信雄	菊池 茂夫	大越 章吾	曾我 悟	98回H2年	白野 睦葵	33回H3年
近藤 昭雄	本間 政春	鈴木 正昭	佐藤 直道	長場 章	中川 寛之	124回H28年	岩 渕 祐吾
佐藤 勝弘	73回S40年	高橋 淳二	塩田 拓哉	本宮 嘉弘	99回H3年	相澤 知里	34回H4年
鈴木 達昭	大塚 正夫	田辺 英男	田中 清	渡辺 竜助	阿達 佳夫	127回H31年	大橋 万希子
滝澤 敏郎	大原 敏廣	鳥羽 正尚	成田 一衛	91回S58年	加藤 幸生	地 紙 慎太郎	35回H5年
宮川 忠和	風間 正之	丸山 直昌	馬場 吉彦	安藤 正史	100回H4年	129回R3年	伊藤 歌余子
村木 利夫	篠川 和	村井 圭子	藤田 郁代	石川 城仁	石井 薫	西村 美空	42回H12年
66回S33年	高橋 浩	80回S47年	藤田 信也	出塚 次郎	木ノ下 智弘	130回R4年	岡田 武雄
今井 泰博	田辺 研吉	小柳 文英	86回S53年	上田 剛	101回H5年	高見 京子	不明者
小出 秀二	渡辺 行雄	渋谷 憲英	五十嵐 裕恒	小竹 聖一	伊藤 静香	田村 旭	長谷川 聡
八木 喬	74回S41年	清水 富信	古山 徹	真保 恵美子	小川 和恵	能勢山 凌大	サウトモヒロ
67回S34年	坂井 靖	81回S48年	山際 義博	高井 英智	笠原 弘喜	131回R5年	
大滝 正通	永井 明彦	相馬 一文	米田 忠明	高桑 正幸	小林 あかね	杉本 寛児	
片山 忠一	橋本 昭一郎	丸山 晋司	87回S54年	松永 恵	竹内 法子	132回R6年	
鶴賀 政行	村山 績	82回S49年	磯西 靖宏	松本 裕之	103回H7年	竹内 結香	
中川 昇	75回S42年	宇佐美 明男	奥村 克彦	森 聡	中前 千佳	通信制	
間口 龍郎	江口 芳春	小川 雅博	田中 典生	山口 由美子	中村 崇	9回S42年	
68回S35年	小山 隆	高橋 英明	外川 忠利	渡部 滋	丸山 圭太	白田 美枝	
岡村 光郎	篠田 昭	平田 カオル	細田 裕	92回S59年	若林 健一	10回S43年	
上村 敦子	高橋 久夫	宮島 静一	女池 成弥	遠藤 千夏	106回H10年	木ノ下 健次	
神田 性以智	南部 由美子	83回S50年	88回S55年	渋谷 正浩	土田 幸宏	12回S45年	
丸山 弘	吉川 恵次	相田 八郎	池田 寛雄	時田 直昭	107回H11年	岡村 清	
若松 昌弘		阿部 和弥	大越 健介	畑野 晋一	山田 大史	坂爪 義興	